

にんじん

調査期間：令和2年度～令和6年度

実証条件

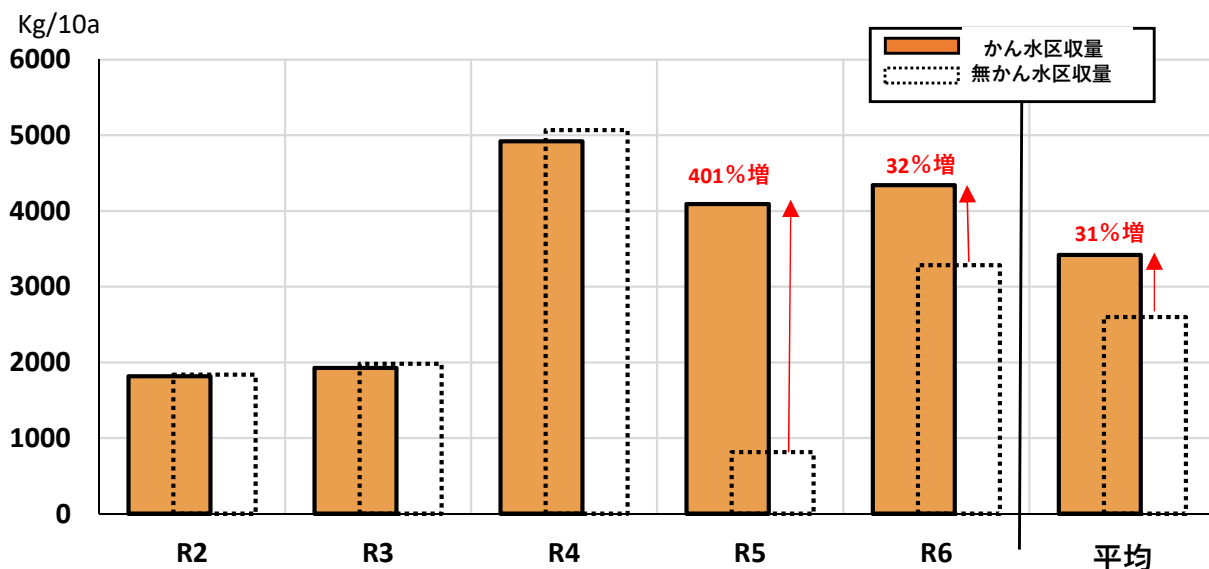
調査地：常陸大宮市三美
 品種：加工用品種
 定植：8月中旬
 畝間・条間：80cm・15cm×2条まき
 かん水：スプリンクラー 1回あたり
 1.7ℓ/㎡(1,700ℓ/10a相当)
 収穫：12月中旬



生育状況 (R4)
 左：かん水・右：無かん水



収穫物比較 (R2)
 左：無かん水・右：無かん水



参考：年度別収益状況

年度別収量比

にんじん		R2	R3	R4	R5	R6	平均	
平均単価		126	128	95	117	169	127	円/kg
収量	かん水	1,818	1,926	4,920	4,092	4,342	3,420	Kg/10a
	無かん水	1,836	1,980	5,070	816	3,286	2,598	Kg/10a
収益	かん水	229,068	246,528	467,400	478,764	733,798	434,289	円/10a
	無かん水	231,336	253,440	481,650	95,472	555,334	329,895	円/10a
	差	-2,268	-6,912	-14,250	383,292	178,464	104,394	円/10a



スプリンクラーかん水状況

結果

- 5年平均収穫量が、31%増加した。
- 令和5年度は、播種前後で降水のない日が続いたため、無かん水区の発芽が悪かったが、かん水区の収量は平年同様であったため収量に大きな差が出た。